



豊前のおしごと 親子de体験隊

取材先 ▶株式会社 三福

豊前市在住の親子記者が、市内の様々な企業や団体を取材した記事を掲載する同コーナー。12回目は、藤本美樹さん・藤本清愛ちゃん（せいら／中1）親子です。



地域にも社会にもやさしい！ 自動車の部品を作る地元の工場を見学

今回、私たちは自動車の部品をつくる「株式会社 三福」を取材。自分たちがいつも乗っている自動車の部品がどのようにつくられているのか、工場内を見学させていただきながら教えていただきました。また、取り組んでおられる“植樹”についても色々聞いてきましたよ。



ゴミの分別も
分かりやすい！

“人”と協力しながら働く産業用ロボット「人協働ロボット」の操作を体験！ 安全対策が進化しているため、手で押さえると動きが止まるようになっていて、びっくり！

案内人 生産スタッフ部 EG課
課長 岡山 裕幸さん



弊社では、地域住民の皆さま、従業員とその家族などの支援によって、植樹（工場緑化）に取り組んでいます。

森に包まれた工場!? 植樹活動について

外から見ると、中の工場が見えないくらい多くの木で `包まれている、同社。消音や空気清浄などの商品開発はもちろん、植樹活動にも力を入れています。植えるのは、豊前の風土に合った種類の樹木。すくすく順調に育っています。



▲2008年から始まり、計4回の植樹を実施

ロボットと人が `仲良く、協働

工場内では、様々な機械やロボット、それを操作する人たちが働いていました。ロボットと人が `仲良く、協働で作業していたのが印象的で、興味深かったです。私が大人になる頃にはどうなっているのかな？



▲端材でつくられた `三福騎士、と同ポーズ♪

SDGs 見つけた！

自動車部品の製造が安全に配慮したロボットに任されていること、そしてさらにロボットが人と一緒に「仲良く」働く現場を見て驚かれたようですね。最近では飲食店などでもロボットをよく見かけるようになりました。この先どんな未来になっていくのか楽しみです。

おうちでも行っているごみの分別は、資源の再利用・CO2削減など持続可能な社会を作っていくために大事なことです。

そして森に包まれた工場って素敵です。豊前の風土にあった樹木を積極的に植樹され、緑がどんどん増えて行くのもすばらしいことですね。

取材協力 (株) ニコン日総プライム NNPシリーズSDGs連載担当
水谷洋司・五代厚司・岩崎裕子・宮川清希・二塚正明

■取材を希望される企業・団体および取材にいて記事を書いてみたい親子記者を募集中。

取材先のSDGsポイント！

- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
ポイント① SDGs目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう
★ロボットと人が仲良く協働する現場
- 12 つくばない責任、つかう責任
ポイント② SDGs目標12 つくる責任、つかう責任
★分かりやすいごみの分別
- 13 気候変動に具体的な対策を
ポイント③ SDGs目標13 気候変動に具体的な対策を
★風土に合った樹木の植樹活動

Check Point

取材協力 株式会社 三福 (☎ 0979-84-0735)

豊前市大字小石原185番地8

<https://www.sanpuku35.co.jp/>



撮影 Kazuki (@kazuki_furugiya_buzen)

※撮影中の様子は「おしごとパレット」のInstagramにて公開中

Instagram ID : @oshigotopalette

